

## ■ VISTA 5 SR ユーザーレポート

株式会社 NHK メディアテクノロジー 様

VISTA 5 SR

中継音声支援車 (S-1) に VISTA 5 SR を導入



株式会社NHKメディアテクノロジー  
スポーツ・中継TD  
佐藤 哲司

### 中継音声支援車 (S-1)

NHKメディアテクノロジーでは、主にスポーツ中継や生放送中継番組で使用する為の中継音声支援車(音声制作スペースと制作支援用スペースを持った車)を今までに3台製作してきました。

今回の中継音声支援車(S-1)は4台目になり、スポーツ中継番組の5.1サラウンド制作を念頭に置いて製作しました。今回のS-1はスポーツ中継番組以外においても使用する事を考え、特に3D番組制作にも対応できる拡張性の高いコンソールを考えていました。

今回のコンセプトにおけるコンソールの選択の基準として、第一に、スポーツ中継番組の生放送に対応したオールリダントデジタルコンソール



ル、次にコストパフォーマンスが高く、車中でのオペレートしやすいコンソールサイズを考えており、その基準にマッチしたのがSTUDERのVista 5 SRでした。「スポーツ中継で使用するにはややハイスpekでは？」と言う声も社内では上がりましたが、NHKメディアテクノロジーとして3D番組やスポーツ・中継番組のコアとなる音声支援車にする為にVista 5 SRの導入を決定しました。

### 実際に使用してみて

Vista 5 SR (Vista 5よりコンソール液晶画面に角度がついてる)にしたことでVistonicsにも手が届きやすく、画面の視認性が高いためオペレートがしやすいです。また、コンソールのセットアップもGC(グラフィックコントロール)画面で見やすくわかりやすく感じました。特にGCのSTRIP SETUPでSTRIPをドラッグドロップできる点や、サラウンドパン機能であるVSP(ヴァーチャルサラウンドパン)は個人的にとっても気に入ってます。NHK様には東京ドームでの巨人戦など5.1サラウンド野球中継で使ってもらっていますが、コンソールに対する不満はほとんどあがってきません。

また、スポーツ中継番組以外では、東京JAZZ(FM)の生放送で運用しました。フェーダー数が32本の制限の中でシステムを構築しJAZZならではの、S-1からの電源供給でD21mをステージボッ

クスとして出先で運用、12時間もの長丁場をトラブルもなく運用できました。

今後は、他のSTUDERデジタルコンソールとの連携(RELINKを使用したシステム)を考え、MTの得意分野である3D番組で効果的に使用していきたいと思っています。

S-1運用から半年がたち、コンソールのバージョンアップやSTUDERの適切な対応もあり、安定運用できていると思います。またVista 5 SRのコンフィグの見直しなどを行い、より使いやすいコンソールになってきています。今後は、ブリッジボードのリダントを行うことによって当初の予定であったオールリダントデジタルコンソールにしていく予定です(11月に実施予定)。

またSTUDERのサポート体制にも満足しています。どんなトラブルにも迅速に対応していただいています。MTとしては今後もこのようなサポート体制を期待しています。

